

Fill your tomorrow



中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II
(2023～2025年度)
説明資料

2023年5月11日

新日本空調株式会社

企業理念と10年ビジョン

企業理念
『使命』と『価値観』

使命

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす。

価値観

調和、探求、真摯、絆

10年ビジョン 『SNK Vision 2030』

基本方針

新日本空調グループは、
持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向け、
ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指します。

5つの基本戦略

【事業基盤増強戦略】 【収益力向上戦略】

【デジタル変革戦略】 【企業統治戦略】 【人的資本戦略】

策定に至る経緯

環境ソリューションカンパニー

企業理念

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、
未来へ向けた思いを満たす。

使命

価値観

調和、探求、真摯、絆

企業価値

「社会の持続性」と
「企業の持続性」の実現

2030年にありたい姿

2030年における事業規模 (目標)
事業規模 1,300~1,500億円
営業利益率 10.0%以上
ROE 10.0%以上

10年ビジョン「SNK Vision 2030」
5つの基本戦略

事業基盤増強戦略

収益力向上戦略

デジタル変革戦略

企業統治戦略

人的資本戦略

Phase I

Phase II

Phase III

2020年度

2022年度

2025年度

2030年

未来

2030年にありたい姿

あらためて、2030年のありたい姿を具体的にイメージ

▶空調工事を核に、社会のニーズに応える技術力を持ち、地球環境維持へ貢献し続け、事業に活かされ、持続的に成長し続けている

▶No.1、Only Oneの技術が社内外に広く認知されている

▶ナレッジやテクノロジーが持続的に蓄積、継承され、スマートに活用され、新たな価値やサービスが社会に提供されている

▶個人の実績やスキルが把握され、人的資本経営に活用されている

▶社員の夢が、会社の使命やビジョンの達成に結びついており、ありたい姿の実現に向かって成長をつづけている

▶すべての社員の時間外労働が、「月45時間・年360時間」以下になっている

▶ダイバーシティが実現され、多様な価値観のもとに事業が運営されている

▶社会課題を解決する新たな基盤づくりに挑戦し続け、魅力や夢があり、人が集まる事業・技術が推進される企業風土となっている

▶社員は、社会課題解決やお客様資産の価値向上に結びつく役割に専念している

基本戦略と対処すべき基本課題

事業基盤増強戦略

当社の持続性を高める事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の展開による収益基盤の拡大を目指す。

【基本課題】

①

当社の強みの深化、差別化に資する
技術開発とブランディングの推進

- 優位分野の受注伸長 (CR、地冷、原子力、RN)
- 分野別横断チームによる優位性の確立・訴求

②

ワンストップ施工体制の拡大と
持続的なサービスの提供

- 設備工事一括受注に向けた体制強化
- 中長期保全計画のワンストップ提案強化
 - 新工法、新技術の採用による競争力強化

③

建物ライフサイクルを通じた
収益性評価による
ストックビジネスの推進

- 中長期保全計画を通じた省CO₂提案の強化
 - 国内関係会社との連携強化による周辺事業の拡大

④

社会の持続性に資する
ソリューションサービスの展開強化

- 微粒子可視化技術を核とするソリューションサービスの拡大
- クラウドを利用したサブスクリプション型省CO₂ソリューションの提供

基本戦略と対処すべき基本課題

事業基盤増強戦略

当社の持続性を高める事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の展開による収益基盤の拡大を目指す。

【基本課題】

⑤

社会の持続性を支える
成長分野・新エネルギー分野への
事業領域拡大

- ▶ 産官学、スタートアップとの
技術連携・共同研究強化
- ▶ 研究開発施設の拡充

⑥

海外事業の安定化を目指した
人員の拡充と
機動的な事業地域の選択

- ▶ アジア地域の未進出国への進出検討
- ▶ 国内外人材のローテーション、
キャリア採用強化

⑦

社会の持続性に資する
将来技術や新たな事業を創出する
イノベーション意識の醸成と
推進体制の整備・運用

- ▶ イノベーション推進組織の設立による
未来志向技術の検討

基本戦略と対処すべき基本課題

収益力向上戦略

現場機動力の増強と安全品質管理体制の強化および生産性向上により、事業収益力の向上を目指す。

【基本課題】

①

業務プロセスの効率的な見直しとプロジェクトの最適な業務仕分け

- 現場コア業務、店社業務、BPO仕分けの明確化推進と分業体制の確立
- 生産性向上とWLBの充実

②

サプライチェーンの持続性と現場プロセスの効率化を目指した構造変革の推進

- サプライチェーン・技能者維持のための投資
- パートナーシップ構築宣言と支払条件の見直し

③

SNK品質の提供と安全の確保によるお客様資産価値の維持向上

- ナレッジマネジメントシステムの活用推進
- ゼロ災活動・品質管理強化の継続推進

基本戦略と対処すべき基本課題

デジタル変革戦略

デジタル変革社会に即した高度情報活用の推進と業務機動性の更なる向上のために、デジタル情報の活用を推進し、デジタルトランスフォーメーション (DX) による新たな価値提供を目指す。

【基本課題】

①

すべての業務プロセスのデジタル化推進とナレッジを最大限に活用する
マネジメントシステムの構築と運用

- ▶ ナレッジマネジメントネットワークの構築による設計・施工業務の効率化

②

現場生産性、品質の向上を目指す
徹底した現場ICTの推進

- ▶ 施工管理アプリ、VR技術、デジタル工程表、BIMなどの実用拡大

基本戦略と対処すべき基本課題

企業統治戦略

持続可能な社会の実現と
ステークホルダーへの価値
提供のために、ESG経営の
推進とそれを支える
コーポレート・ガバナンス
体制の強化を目指す。

【基本課題】

①

サプライチェーン全体を通じた人権等、
サステナビリティを巡る課題への注力、
事業を通じたグリーントランスフォーメーション
(GX) の推進

- 設計提案、再生可能エネルギー導入によるGHG排出量2050年度ゼロ
- 人権DDの実施など人権リスクに対する積極的な取組み推進
 - 環境関連事業への投資

②

グローバルな情報開示枠組みへの
対応と積極的な社会との対話の促進

- SBT認証取得、ISSB開示基準対応、
TNFD賛同検討
- ICP導入検討

③

持続的成長を可能とする
コーポレート・ガバナンス変革

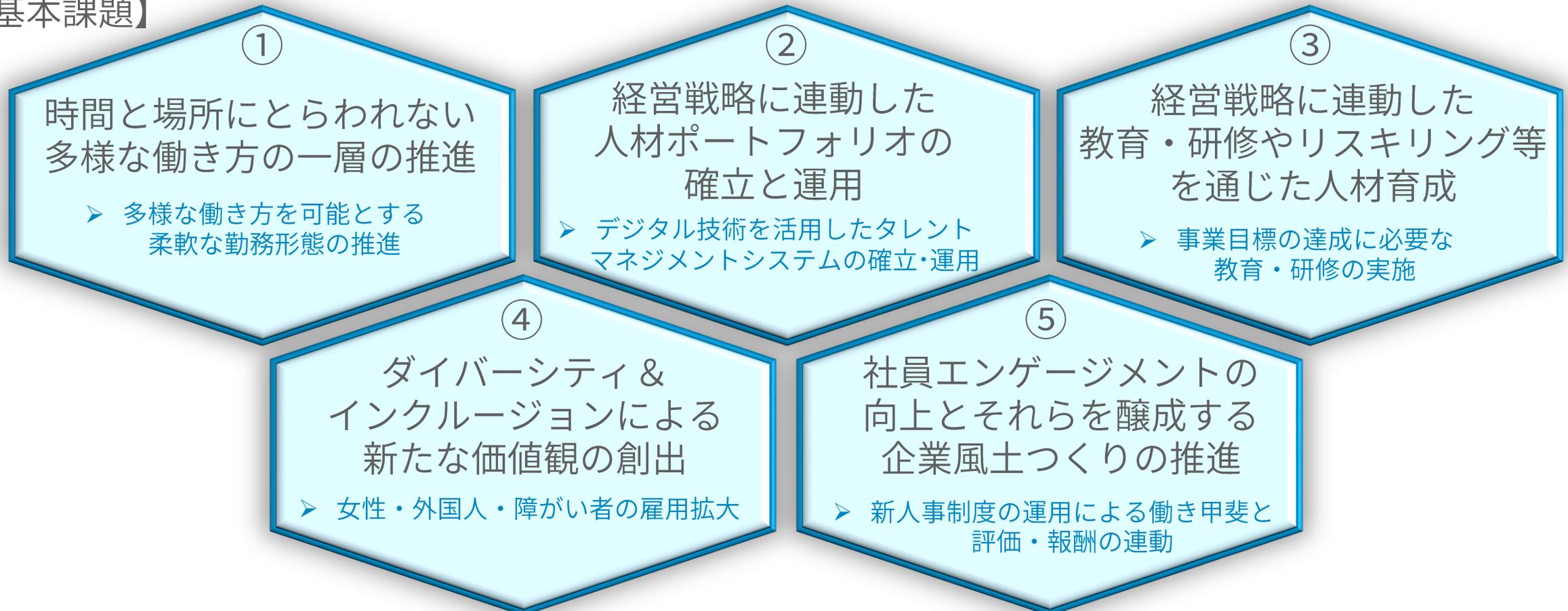
- 監査等委員会と連携したガバナンス強化
 - コンプライアンスの徹底

基本戦略と対処すべき基本課題

人的資本戦略

多種多様、多才な人材を有し、自己のキャリアプランと会社のキャリアパスを結びつけ、働き方改革を実現させる人的資本経営を推進する。

【基本課題】



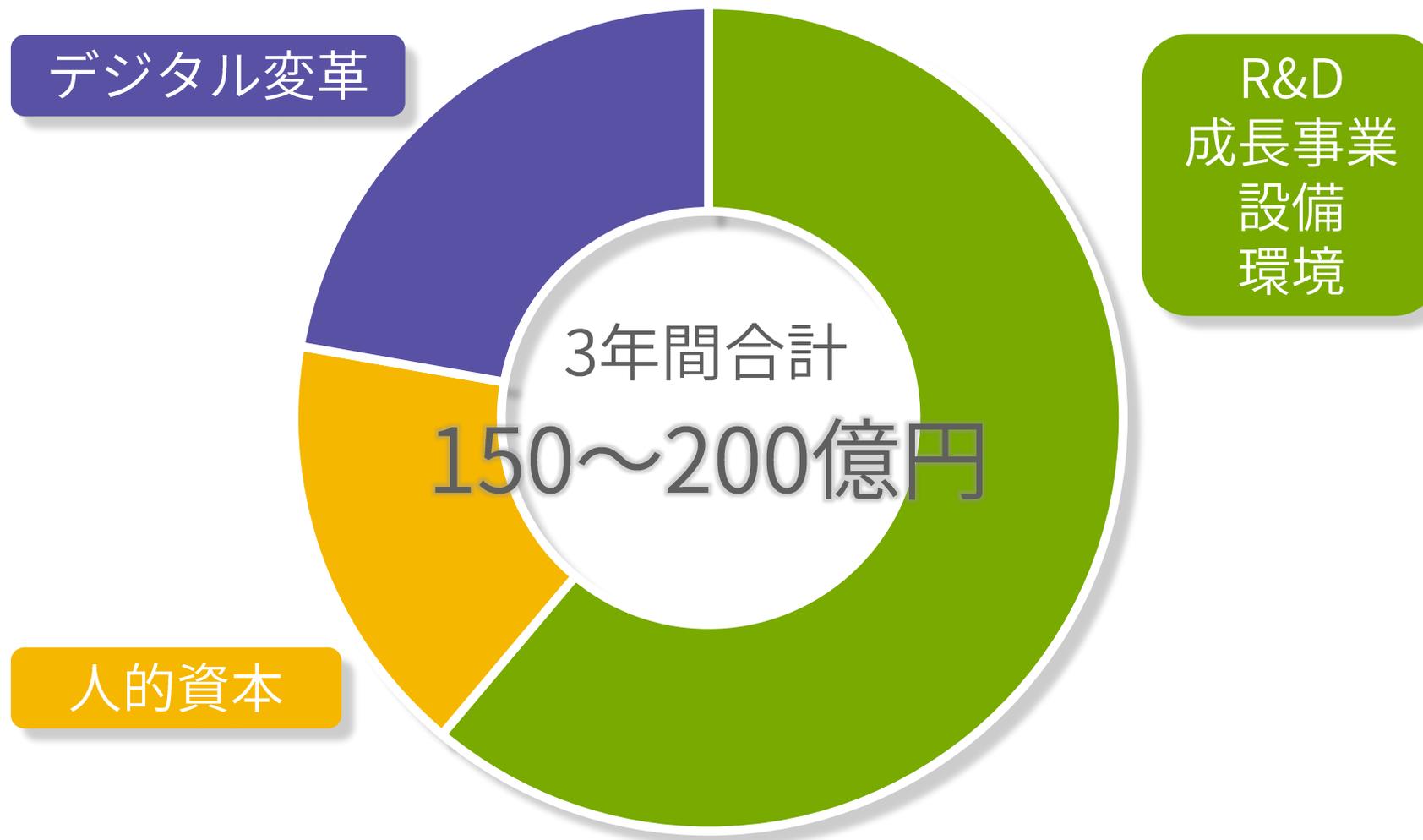
経営数値目標

(単位：百万円)

| | 2023年3月期 実績 | | 2026年3月期 目標 | |
|---------|----------------|------|----------------|------|
| 受注高 | 130,869 | — | 135,000 | — |
| 完工高 | 112,234 | — | 130,000 | — |
| 営業利益 | 7,124 | 6.3% | 9,000 | 6.9% |
| 経常利益 | 7,914 | 7.1% | 9,400 | 7.2% |
| 当期純利益 ※ | 5,597 | 5.0% | 6,600 | 5.1% |
| ROE | 10.0% | | 10.0%以上 | |

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

将来の成長に向けて、3年間合計で150~200億円を投資

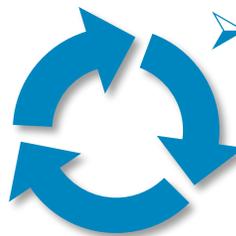
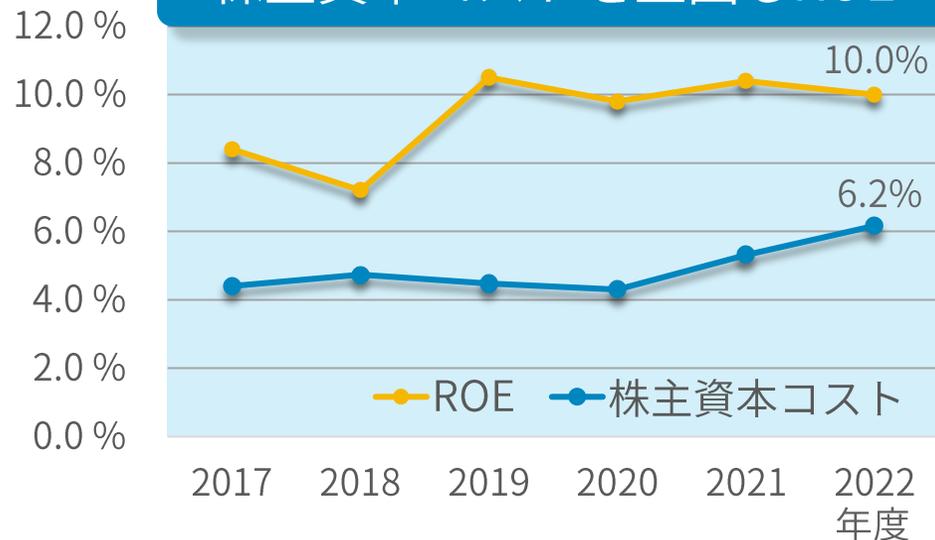


資本政策

【資本政策の基本方針】

当社グループの資本政策としては、利益・資本・リスクのバランスを考慮しつつ、財務健全性を維持しながら、株主資本コストを上回るROEを見込めるよう、資本効率の向上を図るとともに、R&Dや成長事業、設備、環境、人的資本、デジタル変革などへの投資を行いながら、利益や資本の水準に見合った株主還元を実現していくことにあり、この政策を通じて企業価値の向上を図ってまいります。

株主資本コストを上回るROE



➤ 資本効率の向上

➤ 投資

- ・ R&Dや成長事業、設備、環境
- ・ 人的資本
- ・ デジタル変革など

利益や資本の水準に見合った株主還元

企業価値の向上

資本政策

【政策保有株式に関する方針】

当社は、良好な取引関係の維持・連携強化を図るうえにおいて、当社の企業価値の向上を実現する観点から、必要と判断する企業の株式を保有することがあります。こうした株式の保有については、取締役会で個別銘柄ごとに保有目的、取引状況、保有リスクを勘案しつつ、便益性と資本コストを総合的に検証し、保有または売却の要否を判断しておりますが、今後2025年度末までには、2022年度末比で、20%の縮減を目指してまいります。

【株主還元】

当社グループは、株主の皆様に対する利益の還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、安定的に株主の皆様へ還元するため、株主還元に関する基本方針として、DOE（株主資本配当率）3% を下限とし、連結配当性向 30% 以上として還元してまいります。更なる株主還元については、今後の投資等を考慮しつつ、機動的に実施することとします。

【免責事項】

ここに記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。

各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

新日本空調株式会社

経営企画室 企画・サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーション課 担当：福安麻美子

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号 浜町センタービル

TEL：03-3639-2701 FAX：03-3639-2731

Mail：fukuyasum@snk.co.jp

SUSTAINA-FULL!

エンジニアリングで、人と自然に満ちたりた調和を。



私たちが暮らす社会の持続には、
自然界とのベストバランスの
維持が欠かせません。
果てなきサステナブルへ。
SNKはエンジニアリングパワーで、
人と自然、社会と地球の
あるべき調和を追求します。

Fill your tomorrow

snk
新日本空調株式会社